

● 「IFCAA2012 SAPPORO」の開催について

札幌コンベンションセンターで、アジア各国の消防長が一堂に会する国際会議「IFCAA2012 SAPPORO」が開催されます。

これはアジア・オセアニア地域の 17 の国・地域が参加し、同地域における消防の連携を深めるために、会議や国際消防・防災展、IFCAA 初の試みとなる国際消防救助隊による合同訓練などを行う大規模コンベンションです。

IFCAA の総会等において、各国の消防・防災についての情報や知識、技術を確認し合うほか、合同訓練等により、救助技術レベルの向上や各国間の連携強化を図っていくとともに、全体を通して、より多くの市民に、消防への理解を深め、防災についてあらためて考えてもらう機会となることを期待しています。

なお、札幌市では、この IFCAA の初日から外国人の入り込みが多い夏場にかけて、海外からのお客様に歓迎のメッセージカードや市民手作りの折り紙を贈るなど、札幌らしいおもてなしを展開していきます。

【IFCAA とは】

IFCAA (International Fire Chiefs' Association of Asia) とは、「アジア消防長協会」の英語標記の略称で、「イフカ」と読みます。アジア・オセアニア地域内の 22 カ国 2 地域が加盟しており、各国の消防長が連携し、生命、財産を火災等から保護する技術や手段の研究を促進させるとともに、各国の情報を交換し、アジア地域における消防の発展を目的として 1960 年に設立された団体です。

1 開催期間

平成 24 年 6 月 20 日(水)～23 日(土)

2 開催場所

札幌コンベンションセンター（白石区東札幌 6 条 1 丁目）

3 開催テーマ

連携が築くアジアの安全

4 IFCAA 加盟国・地域（下線は今回の参加国）

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、ブルネイ、香港、インド、インドネシア、イスラエル、イラン、大韓民国、クウェート、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、シンガポール、シリヤ、スリランカ、タイ、台湾、日本

5 参加者

- (1) 海外消防長等：約 50 人
- (2) 国内消防長等：約 500 人
- (3) 消防関係者・企業：約 500 人
- (4) その他、一般市民約 10,000 人の来場、参加を目標としている。

6 主 催

- IFCAA2012 札幌開催実行委員会
- アジア消防長協会
- 全国消防長会
- (一財)全国消防協会

※IFCAA2012 札幌開催実行委員会

名譽委員長	札幌市長	上田文雄
委員長	札幌市消防局長	遠藤敏晴
副委員長	財団法人北海道消防協会常務理事	石川治憲
監事	札幌商工会議所常務理事	菊嶋明廣
監事	財団法人札幌国際プラザ副理事長	中田博幸
委員	札幌コンベンションセンター名誉館長	高橋雅二
委員	北海道国際女性協会会長	渡辺里代子
委員	札幌市10消防団連合協議会会长	東田慎悟

※敬称略

7 会期中の主な行事

- ・ 第27回アジア消防長協会総会（21日）
- ・ IFCAA2012 札幌国際消防・防災展（22・23日）
- ・ IFCAA2012 国際消防救助隊合同訓練（22日）
- ・ 各国消防事情発表（22日）
- ・ 第64回全国消防長会総会（21日）
- ・ 第35回全国消防職員意見発表（20日）

※ 詳細は別紙参照

8 IFCAA2012 札幌国際消防・防災展

(1) 日時：6月22日(金) 10:30～17:00
23日(土) 10:00～16:30

(2) 会場：大ホールおよび屋外展示場

(3) 目的：東日本大震災を受け、市民の防災に対する意識は非常に高まっていることから、災害への備えや、地域や官民が一体となった防火・防災への取り組みをさらに推進するとともに、消防・防災関連技術等の振興および消防行政施策等の充実と発展を促進し、北の大地から新たな防火・防災力を発信する。

(4) 内容：災害対応に必要な資機材や災害現場に即した実践的な訓練を、市民に実際に見て、触れて、体験してもらうことで、防災意識の向上を図り、さらには安全・安心なまちづくりを推進するため、クイズ形式のシミュレーション「札幌大震災～君はどう生き抜く？～」や、75の消防防災関連企業等による、最新式の消防車や防災機器の展示など、各種イベントを取り揃えています。

※ 詳細はリーフレット参照

9 IFCAA2012 国際消防救助隊合同訓練

- (1) 日時：6月22日(金) 11:00～12:00
- (2) 会場：屋外第二駐車場
- (3) 目的：近年アジア地域で頻発している地震、津波、洪水などの大規模自然災害に対し、的確に対応できるよう各国の救助技術レベルの向上を図るとともに、被災地に派遣された救助隊が迅速に活動できるよう各国間の連携強化を図る。
- (4) 参加国：日本を含めて7つの国・地域
- (5) 内容：北海道石狩中部を震源とするマグニチュード9.0の直下型地震により、札幌市内全域に甚大な被害が発生。火災や交通事故、建物倒壊など多数の災害が発生し、逃げ遅れた要救助者および負傷者が大勢いるという想定。情報伝達や参集といった初動時の訓練から、消火救助訓練、応急救護訓練など、大規模災害時における総合的な訓練を実施する。訓練会場に倒壊家屋や瓦礫を設置し、ヘリコプターによる救出訓練、さらには崩落危険のある建物内からの救出訓練などを海外の救助隊と連携して行う。



※イメージ

10 開催シンボルマーク



【説明】

北海道とその周辺を生活圏としてきたアイヌ民族の文様をモチーフとし、消防・防災には欠かせない存在である水の「泡」を組み合わせ、デザインした。「災害は魔物がもたらすもの」というアイヌ民族古来の考え方から、文様の角や先端に、魔物が嫌うという「キラウ(つの)」を「モレウ(少し曲がる)」文様に配置した。基調色は、綺麗な水源や豊かな自然が多く残る北海道をイメージし、また市民に広く愛されるイベントとなるよう、明るい色合いの緑・青とした。

制作者：札幌市立大学デザイン学科4年 首藤 翠（しゅとう あきら）さん

11 過去の開催地

回	開催年月	開催国・都市名
<u>第1回</u>	昭和35年5月	東京都
<u>第2回</u>	昭和37年5月	東京都
<u>第3回</u>	昭和39年10月	東京都
第4回	昭和41年11月	タイ王国バンコク
第5回	昭和43年10月	フィリピン共和国ケソン市
<u>第6回</u>	昭和45年6月	大阪市
第7回	中止	イスラエル国
<u>第8回</u>	昭和49年5月	名古屋市
第9回	中止	大韓民国
第10回	昭和53年11月	シンガポール共和国
第11回	昭和55年11月	インド国デリー市
<u>第12回</u>	昭和57年11月	東京都
第13回	昭和59年11月	フィリピン共和国マニラ市
<u>第14回</u>	昭和61年5月	広島市
第15回	昭和63年11月	シンガポール共和国
<u>第16回</u>	平成2年5月	名古屋市
第17回	平成4年8月	マレーシア国クアラルンプール市
<u>第18回</u>	平成6年10月	東京都
第19回	平成8年10月	タイ王国バンコク
<u>第20回</u>	平成10年10月	福岡市
第21回	平成12年8月	マレーシア国クアラルンプール市
<u>第22回</u>	平成14年7月	京都市
第23回	平成16年11月	台湾台北市
第24回	平成18年8月	オーストラリア連邦メルボルン市
<u>第25回</u>	平成20年6月	東京都
第26回	平成22年8月	大韓民国大邱広域市
<u>第27回</u>	平成24年6月	札幌市

※_____は日本国内開催

問い合わせ先

IFCAA2012 札幌開催実行委員会事務局（札幌市消防局総務課内） 戸部
電話：215-2119

日 程

※ゴシック文字は市民が参加(見学等)できるイベント等
※網掛は取材可

20日(水)	21日(木)	22日(金)	23日(土)
	<p>9:00～9:50 アジア消防長協会 理事会</p> <p>10:00～11:00 アジア消防長協会 定例会議 (第27回アジア消 防長協会総会)</p> <p>11:20～12:30 アジア消防長協会 全国消防長会 合同開会式</p>	<p>9:20～10:20 アジア消防長協会 各国消防事情発表(I)</p> <p>10:30～12:00 国際消防・防災展開会式 国際消防救助隊合同訓練 (国際消防・防災展は開会 式後、17:00まで)</p>	
12:40～14:00 (一財)全国消防協会 理事会・評議員会			国際消防・防災展 (市民参加イベント)
14:10～15:20 全国消防長会 常任理事会		<p>14:00～15:20 アジア消防長協会 各国消防事情発表(II)</p> <p>15:30～16:10 アジア消防長協会 全国消防長会 合同閉会式</p>	
15:30～16:40 第35回全国消防 職員意見発表	14:00～16:20 第64回 全国消防長会総会	16:30～17:00 共同記者会見	16:30～17:30 消防防災展 閉会式
16:50～17:20 消防機器の改良・ 開発・論文に関する 表彰			
17:30～18:10 全国消防職員意見 発表 講評・表彰			